

自動計量機

FS-500E型

コンテナバッグ自動計量充填装置

特長

本機は粉粒体の製品または半製品の運搬に数多く使われているコンテナバッグの自動計量充填装置で、電子式台秤によるグロス型計量機です。

グロス計量方式の為、バッグがそのまま容器となり付着等を考慮する必要がありません。

空パレットマガジン、搬入コンベア、秤上コンベア、排出コンベアとの組合せにより作業性が高まります。

原料のエアー抜きとして振動充填機を組み込みます。

また、ホッパースケールにて正確に計量したものを充填するネット計量方式のFS-1000E型もあります。



CHIBA DORYOKO CO., LTD.

■標準仕様

	FS-500E型	FS-1000E型
計 量 範 囲	200~2000kg	200~2000kg
精 度	±1/200~1/2000	±1/200~1/2000
能 力	10~30袋/時	20~60袋/時

計 量 装 置	重量検出はロードセル4点支持方式を採用しているの為、常に安定した高能力、高精度が保たれます。
供 給 装 置	原料をコンテナバッグへ供給する装置で、2段又は3段制御方式を行います。精度の維持の為に、重要な要素ですので原料に合った供給装置の選定が必要となります。カットゲート、振動フィーダ、スクリュウフィーダ、ベルトフィーダ、ロータリーバルブ、テーブルフィーダ等があります。粉粒体の性状によっては異種の供給装置を組み合わせて使用する場合があります。
袋ふくらし装置	内袋ポリ袋の場合、プロアによる膨らまし装置が必要となります。給気、排気自動切替付です。通常、プロアは0.75kW (6m ³ /min) を使用します。
充填シュート	袋クランプ装置は通常エアシリンダーによる2点クランプ方式です。全周クランプ装置は発塵性のある原料、内装ポリ袋をブローでふくらます時に必要となります。
昇 降 装 置	バック装着時は作業性の良い位置まで下降させ、装着後バッグ内に原料が完全に充填される位置まで上昇します。
ハンガー装置	ハンガー装置はコンテナバッグの吊りロープを引っかけますハンガーは通常時は鉤型になっております。計量が完了しますと自動的に外れます。
制 御 装 置	計量装置からの電気信号を受け、供給装置などを設定条件に応じて制御します。供給装置の制御は、デジタル設定値との比較などにより、2段又は3段制御を行います。所定量の設定はデジスイッチ、テンキー入力方式、CRT画面を備えた制御もあります。
コ ン ベ ア	フリーローラー、駆動ローラーコンベア、駆動チェーンコンベア、駆動ベルトコンベア等があります。
材 質	直接接粉部材質は原料に合わせ、SUS304の内面バフ仕上げ、テフロンシート貼り、超高分子量ポリエチレンシート貼り等があります。

- | | |
|----|-----------|
| 1 | 補助ホッパー |
| 2 | カットゲート |
| 3 | 袋ふくらし装置 |
| 4 | 昇降シリンダ |
| 5 | 伸縮ジャバラ |
| 6 | 充填シュート |
| 7 | ハンガー |
| 8 | 外架台 |
| 9 | 秤上架台 |
| 10 | 空パレットマガジン |
| 11 | 搬入コンベア |
| 12 | 電子式台秤 |
| 13 | 秤上コンベア |
| 14 | 排出コンベア |

